

## 2021年度 特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ通常総会 議事録

1 日時 令和3年6月12日(土) 15時00分～16時30分

2 場所 クラブハウス

3 出席

正会員 13名

出席 10名 (小野崎研郎、塩野潔、梶谷千恵子、小川貴、  
清水恵二、遠山茂、金木貴子、内村久子、  
木村曜子、山本隆宜)

委任状 2名 (片倉藍、舟山勝明)

正会員以外 1名 (小野崎さおり)

4 挨拶

塩野会長より挨拶をいただいた。

小野崎研郎理事長より挨拶をいただいた。

5 議長選出

定款第28条により、出席した正会員の中から議長を選出し、小野崎研郎理事長が選出された。

6 議事録署名人選出

定款第32条2項に基づき、出席者の中から梶谷千恵子氏、金木貴子氏の2名を議事録署名人として選出した。

7 議 事

第一号議案 2020年度事業報告

第二号議案 2020年度決算報告及び監査報告

第三号議案 2021年度事業計画(案)

第四号議案 2021年度予算案(案)

第五号議案 役員を選任と運営体制について

8 議事の経過概要及び議決結果

議事の開始に先立ち、定足数の確認を行った。

正会員数13名のうち、過半数以上となる12名の参加(出席10名、委任状出席2名)を得ていることから、総会が成立することを確認した。

## 第一号議案 2020年度事業報告

資料に基づき、小野崎理事長より2020年度の概要報告がなされた。総論として2020年度の特徴的なできごとを小野崎理事長より報告がなされた。

- ・総括表に基づき、クラブ事業ならびに関連事業への参加等について、月を追って説明がなされた。昨年度は4月から6月までプログラムが止まっていた。7月から再開したが、1月から再び緊急事態宣言のためプログラムが止まってしまった。また、それに伴い関連事業も中止が相次いだ。
- ・会員数について、このところ少し増えてきている。子供の会員が戻り始めていて喜ばしいことである。こんなに落ち込んでしまったのは初めてで2005年を下回った。大人のプログラムより子どものプログラムの減少が大きい。
- ・事業計画と成果について、イベント系がほとんどできなかったの、PRがほとんどできなかった。1月からコロナで浦和高校が使えなかったが、コロナが明けても耐震の関係で3月から体育館が使えなくなってしまい、星空スポーツ広場ができなくなってしまったのが大きい。また、駒場体育館が新装オープンしたが緊急事態宣言により利用制限があったことも大きい。
- ・うれしいニュースとしてキッズテニスに参加していた園部さんが大きな大会で優勝したことで、先週本人と家族で駒場キッズテニスにあいさつに来てくれた。

### 【緊急課題対応】

- 1 存続のための資金確保
    - ・予算ではコロナ対策の関連助成金として200万を見込んでいましたが、様々な助成金の申請に努め、810万円を受けることができました。
  - 2 会員確保のための活動
    - ・コロナの収束が見えない中で新規の大々的な募集活動が難しい状況でした。
  - 3 コロナ等にも負けない運営の仕組みづくりでスタジオのリモート参加が可能となり、新しい幅が広がってきた。それに伴い事務局の負担が大きくなっている。
- プロジェクトについて
- ・中学生のスポーツ環境向上プロジェクトは、11月12月で止まってしまった。
  - ・意見交換やアンケート調査が中心となった。
  - ・本太中チャレンジクラブを通して、バドミントン大人のコースができる可能性が出てきた。
  - ・女子サッカー支援プロジェクトでは、SC-STERNとの連携ができた。

## 第二号議案 2020年度決算報告及び監査報告

資料に基づき、小野崎理事長より報告がなされた。

- ・収入総額は約2,672万円となりました。予算では約2,070万円を見込んでいましたので600万ほど多くなりました。昨年度より約800万円の減収です。
- ・会費等の収入は約1,721万円となり、予算の1,877万円を156万円下回りました。会費収入だけをみると3,100万円⇒1,721万円とほぼ半減しています。
- ・スポーツ庁事業は約130万円でした。
- ・支出は、2,953万円で、予算の2,600万円よりも約350万円多くなりましたが、これは予算立案時には見込んでいなかった部活動支援のスポーツ庁事業130万やコロナ対策のリモート機材や感染症防止機材等の購入補助金分がほとんどです。これらは8～10割が補助となっているため、収支には大きな影響は与えていません。その他の支出項目が予定よりも膨らんだものではありません。
- ・スタッフや指導者の皆さんの急激な収入減を防ぐために、休業手当をお支払いしました。
- ・以上の結果、単年度の経常収支で約255万円の赤字となりました。予算では540万の赤字としていたので、マイナス幅は大幅に縮小されました。
- ・説明後、監査報告が書面によりなされた。

以上の提案・説明後、第三号議案・第四号議案について、出席者全員の賛成により承認を得た。

## 第三号議案 2021年度事業計画

資料に基づき、小野崎理事長より年間事業計画について提案・説明がなされた。

- ・今年はや定表に記載するイベント事業予定が少ない。
- ・例年よりも3割以上会員数が減少したままです。
- ・活動はかろうじて続けられていますが、新規会員確保がうまく進んでいません。
- ・クラブの存続にむけて、以下のことに取組みます。

### ① 会員確保のための活動

- ・指導者・現会員の皆さんと危機感を共有します。
- ・全てのプログラムにおいて会員を増やすために広報活動と体験会等の開催に、これまで以上に取組みます。
- ・PRチラシの配布

## ② 存続のための資金確保と支出削減

- ・助成金の確保
- ・中小法人・個人事業者のための一時支援金（上限 60 万円）に申請しました。
- ・支出の削減
- ・プログラムの実施回数を予定以上行わないように徹底します。
- ・今年度も状況が改善しないままでは、来年度にはクラブの財政が破綻する可能性が高まっている。本年 9 月末の時点で改善傾向が見られない場合には、以下のことについて検討を開始し、確保することを検討、実施していきます。
  - 1) 指導謝金等の一部カット
  - 2) 期間限定の会費の値上げ
  - 3) 寄付・クラウドファンディング等

## ③ コロナ等に負けない仕組みづくり

- ・クラブハウスの確保：学校等の敷地の活用などにより協働の役割分担を求めています
- ・多年代の連続性の確保：子どもから大人までプログラムの連続性を確保し、生涯スポーツの場としてクラブで続ける人を増やします。
- ・クラブハウスの徹底活用：会員の参加、クラブのプログラムの空き時間をつかった収入の確保。
- ・見沼グラウンド勉強会が秋から始まる。

## ④ 30 周年事業

- ・記念誌の作成を行う。
- ・記念式典の開催の可否を検討する。

## ○クラブ全体として

- ・基本的な考え方は、自主自律で会費をベースとして会員の中で物事を決めていくことは創立当初から大切にされていることなので従来通り踏襲していく。
- ・持続継続という点では、運動は定期的に行うことが大切なので、毎週、毎月、毎年継続していけるようにする。
- ・クラブは互助組織なので、地域が良くなることでクラブが良くなるというふうに考える。
- ・目指すところは、子どものスポーツ環境、大人のスポーツ環境、シニアのスポーツや運動環境の充実を目指す。
- ・取組として、ほかにない受け皿を用意し、使える場所を増やす活動や地域とつながる活動に取り組む。

○プロジェクト

- ・中学生のスポーツ環境向上プロジェクト
- ・子どものスポーツについて考える機会づくり
- ・パラ種目体験・交流事業

○通常事業

- ・クラブメンバーシップを育む
- ・広報・PRに力を入れる
- ・市内の地域スポーツクラブと連携した事業の推進
- ・駒場体育館指定管理事業の充実
- ・スポーツ用品リユースプロジェクトに実践
- ・プログラムについての充実を図る

以上のことについて提案・説明が行われた。

第四号議案 2021年度予算(案)

資料に基づき、小野崎理事長より予算案の提案があった。

- ・昨年度の決算と比較すると減少しているように見えるが、昨年度は助成金等が多くあったため、実質的には減少していない。
- ・支出は減少しているが、活動をそれほど縮小することはないので、ほかの面で節約をするように心がける。
- ・収入の会員数は5月時点のものと見込んでいるので、会員数が回復してくれば収入が増えてくる。現在の時点でのミニマムの予算案である。

以上の提案・説明後、第三号議案・第四号議案について、出席者全員の賛成により承認を得た。

第五号議案 役員を選任と運営体制について

資料に基づき、小野崎理事長から提案・説明があった。

新理事、役員は以下のとおりとなり、第五号議案について、出席者賛成により承認を得た。なお、被選任者は再任を承諾した。

	(旧)		(新)
小野崎研郎	理事長	→	再任
塩野 潔	副理事長	→	会長へ
梶谷千恵子	副理事長	→	再任
小川 貴	副理事長	→	再任
木村 曜子	理事	→	再任
清水 恵二	理事	→	再任

金木 貴子	理事	→	再任
遠山 茂	理事	→	再任
内村 久子	理事	→	再任
舟山 勝明	理事	→	再任
片倉 藍	理事	→	再任
三戸 一嘉	監事	→	再任
柴崎 栄一	監事	→	再任

■ 新たな運営メンバーの参画

- ・ 30周年事業や、10月23日の駒場フェスタ（仮）等の準備にむけて、会員から有志を募り、クラブの運営へのコミットを高めていきます。
- ・ 徐々に、新たな運営メンバーを増やしていきます。  
駒場フェスタ実行委員会  
30周年事業準備会議  
テニス交流会 等

以上をもって、全ての議事を終了し散会した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和3年6月14日

議 長 ..... 印

議事録署名人 ..... 印

議事録署名人 ..... 印